

事業名	検診検査体制整備費		調書番号	63
細事業名	検診診査検査精度向上対策事業費	財務コード	092702	
担当部課室	福祉保健 部	健康増進 課	がん対策推進 担当 (内線)	3528

I 事業の概要

実施期間	初期 S58 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(委託)、補助((公財)山梨県健康管理事業団)						
目的	<table border="1"> <tr> <th>だれ(何)を対象に</th> <th>その対象をどのような状態にして</th> <th>結果、何に結びつけるのか</th> </tr> <tr> <td>検診機関及び検診従事者</td> <td>検査結果の精度の維持向上及び検診従事者の資質の向上</td> <td>県民への質の高い検診の提供</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	検診機関及び検診従事者	検査結果の精度の維持向上及び検診従事者の資質の向上	県民への質の高い検診の提供
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
検診機関及び検診従事者	検査結果の精度の維持向上及び検診従事者の資質の向上	県民への質の高い検診の提供					
内容	<p>○事業概要 検診の精度向上を図ることを目的に次の事業を実施</p> <p>1. 検診実施機関の精度管理の向上、検診従事者の資質の向上を図る。 ①生活習慣病検診従事者指導講習会 ②検査精度向上事業の実施 ③胃集団検診追跡調査の実施</p> <p>2. 山梨県健康管理事業団の円滑な運営を図る(運営費補助金の交付(H14~)) (公財)山梨県健康管理事業団の行う業務に係る経費を補助し、事業団の運営の円滑化を図る。</p>						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	研修会開催数	目標	8	8	8	8	8	8.0
		実績(見込)	8	8	8	8	8	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
成果指標	胃、大腸、肺、乳、子宮頸部の各がんで陽性反応の集中度が、国が設定したプロセス指標を超えている。(各がんにつき陽性反応の集中度が指標を超えていれば20%、超えていなければ0%と設定、20%×5がん=100%)	目標	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%
		実績(見込)	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
		達成率	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		15,133	15,528	14,877	14,832	15,379	15,424	15,625

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	予定どおり実施できている。
成果指標	b	評価	医療従事者を対象に最新の医療情報の提供や検診技術の習得のための講習会を開催し、検診精度の向上につながっている。また、検査機関で行っている検査精度の管理は良好であることから意図した成果を上げている。さらに、胃がん追跡調査や検診機関等の精度管理を毎年度実施し、問題点及び課題等の検討を行うことにより精度の維持・向上を図り県民への質の高い検診の実施に寄与している。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	現在でも十分に意図した成果を上げているため、今後の大幅な成果向上は望めないと思われる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	医療従事者の専門集団である県医師会等に委託することが、事業を実施する上で最も効果的かつ効率的である。
見直しの必要性	無	県民の健康を守るための検診事業においては、検診精度の維持・向上は、必要不可欠となるため、今後も事業の継続は必要となる。また、医療従事者の専門集団である県医師会等に委託することが、事業を実施する上で最も効果的かつ効率的である。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。